

BNT162b2 接種後の中和抗体価と副反応の推移:透析患者と健常人の比較

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○河野唯 前川明洋 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

【背景】

当院の透析患者・職員に3回のBNT162b2接種し、接種後の副反応を調査し、併せて中和抗体を測定した。

【対象】外来透析患者73名と当院職員(以下、健常人)の217名を対象とした。透析患者(平均年齢 68.6 ± 13.6 歳、平均透析歴 8.6 ± 8.5 年、男性44名、女性29名)、健常人(平均年齢 44.4 ± 13.0 歳、男性61名、女性157名)である。

【方法】

1回目接種後3週間目と2回目接種後2週間・3週間目、また3回目(ブースター)接種後3週間目の血清をRoche社の試薬 Elecsys Anti-SARS-CoV-2 を用い、電気化学免疫法(ECLIA 法)にて中和抗体を測定した(BML 社)。副反応は接種にアンケート調査とした。

【結果】

透析患者では健常人より中和抗体価は低い傾向であったが、3回目の接種で著しい上昇が確認された。健常人では、2回目のBNT162b2接種から5か月後には中和抗体価が下降する傾向にあったものの、3回目の接種にてやはり中和抗体価の上昇が確認された。

【考察】

両群に大きな年齢の違いはあるものの、透析患者・健常人ともに、2回の接種で十分な中和抗体が得られ、更に3回目のブースター接種により著しい中和抗体上昇がみられた。